

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

	コード	名 称		コード	名 称
事業名	1053	市街地建造物緊急調査事業	会計	01	一般会計
基本施策	36	歴史や文化を守り、未来へと引き継ぐ	款	10	教育費
			項	05	社会教育費
			目	02	文化財保護費
担当部課名	教育委員会 生涯学習課 文化財室		細目	103	文化財調査事業
作成者氏名	中川 秀也	連絡先	細々目	04	市街地建造物緊急調査事業

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)					
	文化財として記録や保存が必要と思われる歴史的建造物	今後の保存と街並み計画に資する。					
本年度事業内容	旅籠「いたや」、「丸山陶土事務所」の調査						
開始年度	平成	年度	終了年度	平成	年度	根拠法令・要綱等	伊賀市文化財保護条例

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
	人件費合計(A)	720	720	720
②支出内訳(千円)	事業費(B)	57	70	70
	委託料			
	謝礼	48	50	50
	印刷製本費	6	10	10
	その他	3	10	10
合計(A+B)		777	790	790
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
一般財源		777	790	790
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
歴史的建造物の調査	力所	2	2	2			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
調査記録の作成	調査結果を記録保存し、今後の保存に役立てる資料とする。	頁	2 目標 ( 2 )	2	2
			目標 ( )		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

記録の活用と市民への公開
--------------

評価	必要性	4	縮小 指定文化財や登録文化財の候補となる建造物の調査がほぼ終わってきたため	総合評価
	有効性	4		A
	達成度	4		
	効率性	4		